

年 組 名前:

問1

将棋の藤井聡汰さんが18歳11カ月の最年少で初防衛したことを伝える記事です。見出しの①に入るタイトル名と、②に入る段位は何ですか。

「藤井 ① が初防衛」

①

「最年少で ② 段」

②

問2

藤井さんが初防衛後に話した「タイトルは防衛して一人前」という言葉は、どんな意味だと思うか、書いてください。

.....
.....
.....
.....

藤井 A が初防衛

将棋 18歳 最年少で B 段

将棋の藤井聡太棋聖Ⅱ王位との二冠(18)に渡辺明三冠(37)が挑戦していた第92期棋聖戦5番勝負第3局は3日、静岡県沼津市で指され、100手で後手の藤井棋聖が勝ち、3連勝で最年少の18歳11カ月で初防衛を果たした。タイトル獲得を通算3期として規定により、最も若く九段に昇段。10代が初めて最高段位に駆け上がった。

また一つ、歴史を刻んだ藤井棋聖は「タイトルは防衛して一人前」という言葉があるの「よかった」と話した。

これまで、最年少の九段は渡辺三冠が作った21歳7カ月。前期に奪取したタイトルを維持する防衛は、屋敷伸之九段(49)の19歳0カ月だった。今シリーズは名人、棋王、王将を持つ渡辺三冠が相手だったが、隙のない指し手で押し切った。

前期の5番勝負は挑戦者の藤井棋聖が渡辺三冠を破り、最年少の17歳11カ月でタイトルを奪取。今期は立場が入れ替わってのシリーズだった。6月29、30日に開幕した王位戦7番勝負では、挑戦者の豊島将之(三冠(31))を相手に初防衛戦に臨んでいて、第1局を終えて0勝1敗に。25日に始まる叡王戦5番勝負では、豊島三冠へ挑戦することが決まっている。

防衛戦意識せず

藤井聡太棋聖の話 防衛戦は意識せず、ぶつかっていった。(今シリーズは)どの将棋も苦しい場面もあって、そこは課題。九段は最高位なので、光栄なことかなと思う。

(2021年7月4日付 山梨日日新聞 25面)

問3

下記の①～④のゲームについて、対局・対戦する盤のマス目の数が多い順に並べてください。

- ① 「将棋」
- ② 「ビンゴゲーム」
- ③ 「囲碁」
- ④ 「オセロゲーム」

「 (マス目361) 」 → 「 (81) 」 → 「 (64) 」 → 「 (25) 」